

〈多様な水産資源維持対策事業〉 事業費:12,515 千円 補助金:8,343 千円
 (補助先:滋賀県漁業協同組合連合会)

～事業の背景～

琵琶湖固有のサケ科魚類であるビワマスと、天ヶ瀬ダムなどにより海からの天然遡上がなくなったウナギについて種苗放流を実施し、多様な水産資源の維持を図っています。



高島市マキノ町の小学生参加による
 ビワマス稚魚放流 (知内川)

～事業の内容～

10月から11月かけて特別採捕したビワマス親魚から採卵してビワマス種苗(全長60mm、体重2gサイズ)を生産し、3月に県内の主要河川に放流しています。また、ウナギ種苗(体重30gサイズ)を琵琶湖全域に放流しています。種苗の生産や放流は、滋賀県漁業協同組合連合会が行っています。



放流されたビワマス稚魚 (知内川)

～事業の実績～

令和3年度は、県内の15河川にビワマスの稚魚39.1万尾を放流しました。また、ウナギ種苗は1,060kgを琵琶湖に放流しました。

